

物部川清流保全推進協議会部会「こどもたちへの環境学習を進めるWG」要旨(第3回)

日 時：平成23年2月22日 13:00～15:00

場 所：のいちふれあいセンター 香南市野市町西野 534-1

内 容

1. 事務局より、前回（2回目）の議事録要旨の説明。
2. 別添資料「環境学習の取り組み（イベント、プログラムほか）」について、各団体より行事の概要を説明。
3. 事務局より、別添資料「物部川環境学習企画（案）・・・たたき台」を説明。
4. このWGにおける環境学習の企画作りについて、意見交換を行った。

- ・木工教室や丸太切りの体験は、50名までなら森林管理局で対応可能。場所の確保、材料や道具も用意できる。交通費を負担してもらえばいいだけ。小学3年生以上なら自分でノコギリを使えるし、何か製作もできる。山へ出かけて森林の働きやラスまきなど、いろんな場所へ出かけることも可能。
- ・環境学習のバスツアーは1日メニューとなることが多い。1学年を対象とする場合も、数時間で実施するより1日メニューとした方が良い学習ができる。
- ・環境学習は、イベントなのか授業なのか、区別して実施する必要がある。学校の授業で実施する場合は、学校として生徒に何を学習させたいのか、学校としての狙いが何なのか、方針を定めて実施する必要がある。
- ・この環境学習のたたき台はイベント、授業、両方でも活用できそうだ。
- ・このWGで環境学習の企画作りをするならば、物部川祭りのように、大人から子どもたちへ何かを伝えていくような企画にしてみてもどうか。
- ・国交省主催で水生生物調査を実施することとなっている。このような既に決まっている環境学習にあわせて何か実施してみてもいいのではないか。
- ・時期的には、4月頃はアメゴの監視の時期に重なるので難しいが、アユならば11月頃は産卵の様子が見れていいかもしれない。
- ・半日単位で学校が授業で環境学習に出かけていく時は、何時に給食とか、時間的な制約があると聞いている。1日かけて実施する場合は、遠足として出かけていく方がいいと思う。
- ・子供が成人になって物部川のことをどう思うのか。命の恵みというか、子どもたちのために今何をしたらいいのか。小学校の先生と一緒に考えていくべき。流域の小学校へ行って、どのような環境学習を企画したらよいか、小学校の校長先生に話しを投げかけてみてはどうか。

まとめ

◆まずは、小学校（1校）の校長先生に、このWGへ参加してもらって、学校の要望やニーズを説明してもらおう。

◆その後、このWGで環境学習の企画および実施する学校（1校）を決定する。